

# 『アジア社会文化研究』投稿規程

## 1. 『アジア社会文化研究』の目的

『アジア社会文化研究』はアジア社会文化研究会において発表・議論された成果を中心に編集される論文集であり、2000年3月の創刊以来、これまで年1回のペースで刊行されている。同研究会は、アジア研究にかかわる者が専門分野の枠をこえて学際的に討論し研究の幅を広げることを目的に、広島大学大学院総合科学研究科に所属する教員および大学院生を中心に設立・運営されている。

## 2. 投稿資格

原則として本研究会の目的に適い、本研究会にて発表した者とする。なお編集委員会（ならびに院生の場合には当該指導教官）が質的に掲載に十分値すると認めた論文の投稿申し込みを受理し、掲載の可否については厳正な査読制をしることとする。

## 3. 論文集完成までの過程

- (1) 投稿希望者は8月31日までに所定の用紙（「投稿申込書」）で申し込むこと（電子メールによる添付書式も可）。
- (2) 投稿希望論文の提出期限は11月1日までとする。
- (3) 投稿希望者は本年度の研究会において、投稿論文の主題に沿った発表を少なくとも一度以上行わなければならない。ただし海外居住者や遠隔地に居住する者、また長期に渡り海外での調査活動に従事している場合などは、編集委員会での審議を経たのちに、レジュメ等の提出で発表に代える。
- (4) 発表と投稿論文の提出を終えた者から随時、査読制による審査を受け、そこでの結果により、掲載の可否が決定される。
- (5) その後、編集作業（投稿論文の加筆・修正を要請することがある）を経て、翌年の3月末日に刊行する。

#### 4. 執筆要項

(1) 掲載論文の種類および分量

- ①論説：16000～20000 字程度（400 字詰め原稿用紙で 40 枚～50 枚程度）
- ②研究ノート：12000 字程度（同 30 枚程度）
- ③研究動向・調査報告・資料紹介等：8000 字程度（同 20 枚程度）
- ④書評：4000 字程度（同 10 枚程度）

(2) 書式等

原則として「ワード」横書き（34 字×30 行）で、本文を記述する言語は日本語に限る。なお、引用など必要に応じた他言語の使用は認める。なお、規定の書式から著しく外れたものは投稿を受理できない場合がある。

(3) 原稿の提出方法と提出先

投稿希望者は上記①～④に該当する原稿を「ワード」またはテキストファイルで作成し、編集委員会宛に以下のものを提出すること。

- (a) 電子メールの添付ファイルもしくは CD-R など
- (b) 印刷したもの 1 部（直接・郵送いずれも可）

なお投稿申し込みが受理された場合、投稿者は編集委員会の指示に従うものとする。

#### 5. 書式の設定

(1) フォント・文字サイズなど

タイトル	MS ゴシック フォントサイズ 11
章見出し	MS ゴシック
	1. 2. 3. ... (全角, フォントサイズ 10)
節見出し	MS ゴシック
	(1) (2) ... (半角, フォントサイズ 9)
本文	MS 明朝 フォントサイズ 9
数字・英文	章, 節見出し以外は全て「Century」
脚注	文末脚注 脚注番号は「アラビア数字」で設定

参考文献	必要に応じて「脚注」の後に別途に掲載
連絡先	論稿末尾に執筆者の電子メールを記載（希望者のみ）

## (2) ページ設定

「ワード」：ツールバーの「ファイル」→「ページ設定」にて設定

文字数と行数	余白	用紙サイズ
文字数 34	上 30mm	用紙サイズ A4 印刷の向き 横
	下 30mm	
行数 30	外 20mm	
フォント MS 明朝	内 25mm	
フォントサイズ 9	とじしろ 0	
段数 1	ヘッダー 15mm	
横書き	フッター 17.5mm	
	印刷の向き 袋とじ	
	とじしろの位置 横	

## 問い合わせ（編集委員会）

アジア社会文化研究会代表：三木直大（広島大学大学院総合科学研究科教授）

naomiki@hiroshima-u.ac.jp

アジア社会文化研究会：asiasyabunken@gmail.com

アジア社会文化研究会 ML：asiasyabunken@googlegroups.com

## 『アジア社会文化研究』（第 号）投稿申込書

年 月 日

名 前	フリガナ
	日本語名
	英語名
所 属	
連 絡 先	住 所
	電 話
	E-mail

1. 投稿を希望する原稿の種別（○をつけて下さい）

論説		研究 ノート		研究 動向		資料 紹介		書評	
----	--	-----------	--	----------	--	----------	--	----	--

2. 原稿題目（仮題目でも可）

日本語（主題と副題）
英語（主題のみ）

3. 原稿要旨（400～600字程度で記入して下さい）

<div style="border-bottom: 1px dotted black; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="border-bottom: 1px dotted black; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="border-bottom: 1px dotted black; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="border-bottom: 1px dotted black; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="border-bottom: 1px dotted black; margin-bottom: 5px;"></div>
--



## 研究会のあゆみ (2014年度)

第176回：11月19日（水）

発表者：新本万里子（国立民族学博物館外来研究員）

「女が肩から網袋を掲げる」ということ——パプアニューギニア・アベラム  
社会のジェンダー

司 会：諏訪春菜（総合科学研究科博士課程前期）

## 執筆者紹介（掲載順）

新本万里子	国立民族学博物館外来研究員
荒見泰史	広島大学大学院総合科学研究科教授
三木直大	広島大学大学院総合科学研究科教授
大池真知子	広島大学大学院総合科学研究科准教授
因幡宣亨	広島大学大学院総合科学研究科博士課程前期
朱 健姣	広島大学大学院総合科学研究科博士課程前期
水羽信男	広島大学大学院総合科学研究科教授
崔 吉城	東亜大学大学院総合学術研究科教授・広島大学名誉教授

## 編集後記

本号では「地域研究と文化研究」と題した小特集を組みましたが、本誌の英文副題は *The Journal of Social and Cultural Studies* です。つまり本誌は地域の社会と文化を研究対象とするものですから、実はすべての掲載記事がこの特集名にほんらい合致したものです。小特集の2編は小説や映画をまず「テキスト」として読み解く場所から出発していますが、そうすると、では映画「公園」論は違うのかと問われそうです。この研究ノートが基盤としていいる方法は文化人類学です。そして文化人類学ということでは、パプアニューギニアという地域の「女が網袋を肩にかける」という事象を研究対象にした論文もそうです。この論文は「網袋」を「シンボル」ととらえた象徴人類学的研究です。映画「公園」論も、「公園でのお見合い」という事象を主な対象としている点では象徴人類学的でもあれば社会学的でもある研究になっています。もちろん「公園お見合い」や「網袋」という事象を「テキスト」として読み解くという考え方もできます。また宗教儀礼に関する論文は社会文化史的アプローチですが、儀礼という事象を対象とする点では象徴人類学のアプローチと似ていますし、文献学的手法の援用という点ではテキスト研究と似てもいます。

このように実は地域研究といい文化研究といっても、何を対象とするか、どんな研究方法から出発するかによってきわめて多様です。しかし、最終的には総合科学的な研究になります。地域研究とはそうした幅の広い研究領域です。そのことを本誌を手にとって下さる若い皆さんに、とりわけ強調したいと思います。研究会の歩みをみていただければおわかりのように、今年度は一度しか定例研究会を開催できませんでした。研究会をになう院生諸氏の代替わりもなかなかすすみません。地域研究を志す学部生や院生の減少傾向も続いています。それは、総合科学研究科だけの現象ではなく、現在の日本社会を反映しているようにも思えます。でもだからこそいま、表面的な狭隘なものの見方にとらわれるのではなく、より広い視野からの多様な地域研究が必要なのではないのでしょうか。地域研究を志し、アジア社会文化研究会に積極的に関わって下さる若い皆さんの登場を願ってやみません。(三木直大)





編集委員：三木直大（編集委員長）

荒見泰史 高谷紀夫 崔真碩 外川昌彦 長坂格 丸田孝志

水羽信男 吉村慎太郎

アジア社会文化研究 第16号

2015年3月30日

アジア社会文化研究会

広島大学大学院総合科学研究科内

Eメールアドレス：asiasyabunken-owner@yahoogroups.jp

HP アドレス：http://ajiashakaibunka.blog42.fc2.com/

〒739-8521 広島県東広島市鏡山1丁目7番1号

編集委員会連絡先

広島大学大学院総合科学研究科・総合科学部 三木直大

電話：082-422-6356（三木研究室）

Eメールアドレス：naomiki@hiroshima-u.ac.jp

〒739-8521 広島県東広島市鏡山1丁目7番1号